

平成22年度山形県立山形工業高等学校入学者選抜について

めざす学校像

- 1 確かな科学的概念の形成と創作活動により知の統合をはかり、創造性と独創性を身につけ日本の科学技術を牽引する人材を育成する学校。
- 2 生徒の個性を伸ばし、自己実現がはかれる学校。
- 3 文武両道を大切に、学力向上と生徒会活動の充実をはかりながら、有意義な高校生活がおくれる学校。

推薦入学者選抜

1 推薦要件

次の(1)のキャリア形成に係る要件と、それ以外の(2)(3)の要件のいずれか一つに該当する者。

(1) キャリア形成に係る要件

科学技術に興味・関心があり、産業の発展を担う創造型技術者を目指すなど、探求心旺盛な者。

(2) 成績評定概況に係る要件

評定合計の分布段階が(31~37)段階以上の者。

(3) 特別活動等に係る要件

下記のいずれかに該当する者。

生徒会の役員、委員会委員長、学級委員長、部活動の部長などを経験した者。

運動(部)活動で中学総体、同新人大会及び県体育協会加盟団体主催大会において地区大会入賞以上の実績をあげた者。

文化(部)活動で県又は同等以上のコンテストなどで入選(入賞)以上の実績をあげた者。

団体種目において、
のような実績がなくとも、個人として優れた能力を有する者。

2 選抜規準

評価は、調査書学習の記録(A)、調査書学習の記録以外(B)、面接(C)、作文(D)で評価し、その評価の比率は、次のとおりとする。

A 45 : B 20 : C 20 : D 15

3 面接の評価の観点

評価は、次の4つの観点により、A、B、Cの3段階で評価する。

- (1) 志望動機、目的意識が明確である。
- (2) 本校の教育に対する適性、興味・関心がある。
- (3) 心構え、態度が望ましい。
- (4) コミュニケーション能力がある。

4 作文の評価の観点

評価は、次の3つの観点により、A、B、Cの3段階で評価する。

- (1) 志望動機が明確である。
- (2) 問題発見能力がある。
- (3) 論理的思考力、文章構成力がある。

一般入学者選抜

- 1 調査書と学力検査の比率は、5 : 5とする。
- 2 面接結果の取扱いは、「必要に応じて参考資料とする」とする。。
- 3 傾斜配点は、しない。

その他、山形県公立高等学校入学者選抜関連情報については、山形県教育庁高校教育課のHPをご覧ください。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700013/shidou/>